

飛込検定制度

Nichirei Challenge Diving Badge Test

飛込検定実施の手引き

公益財団法人 日本水泳連盟

令和3年9月版

飛込検定者・検定会主催者の皆様へ



公益財団法人 日本水泳連盟

会長 鈴木 大地

飛込検定者・検定会主催者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本連盟の諸事業に関し、何かとご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、1904年のセントルイス大会からオリンピック正式競技となった飛込競技は、北米・オセアニア・欧州・中国など、世界中で盛んに行われている歴史と伝統のあるグローバルスポーツです。わが国においても、オリンピックメダリストこそいませんが、1936年のベルリン大会での4位入賞を筆頭に、多数の入賞者を輩出している水泳競技種目です。

飛込競技の魅力は、何と言っても、「一瞬に凝縮された美しさ」です。僅か数秒の中に確かな技術に裏打ちされた高度な技を組み入れ、多くの人々を魅了する、まさに「芸術的要素の強い」採点競技種目です。

しかし、その美しさの一方で、大変危険度の高い競技種目でもあります。十分な練習や確かな技術力がないままに取り組みれば、大きなけがに直結する一面もあります。

そこで、この度、飛込競技の一層の安全性向上と普及のために「全国統一の飛込の技術基準」が必要と考え、「(公財) 日本水泳連盟飛込検定制度」を策定、発足する運びとなりました。飛込検定は、生涯スポーツとして、ジュニア層だけでなく中高年齢者の飛込愛好者にとってもよき目標となり、十分な成果と効果が上がるものと期待しています。

本制度は、株式会社ニチレイ様のご協賛により実施しております泳力検定制「Swimming Badge Test」の拡充と発展の一環として、飛込競技の安全性向上と普及を目的に実施されるものです。飛込検定者・検定会主催者の皆様には、本制度の趣旨と効用に理解を深め、積極的に活用して飛込愛好者の増大と飛込競技の普及発展への実をあげていただきたくお願い申し上げます。

飛込検定制度 (Nichirei Challenge Diving Badge Test)

— 目 次 —

飛込検定実施マニュアル	4
飛込検定制度の流れ	8
飛込検定基準表	9
飛込検定規定	12
飛込検定会実施細則	16

* 記入例 飛込検定結果報告書 (様式 - 1)

* 記入例 合格者一覧表 (様式 - 2)

I. 飛込検定実施マニュアル

1. 飛込検定の目的

飛込検定の目的は、飛込の普及および競技の特性と楽しさを体験を通して知っていただき、選手としての競技活動を目指す一助とすることです。マイナー競技としてのイメージ、危険性や特殊性により、距離をおいてしまうスポーツではなく、安全で通常経験の出来ない「高さ」や「水深の深さ」、身体だけで「表現」する素晴らしさを伝えたいと思います。やってみたいが難しいのではと考える方も多いためです。また、練習環境がないために、どこで活動しているのか分からない方もいると思います。

本連盟では、飛込を通して水泳のより一層の安全性向上と普及のために「全国統一の飛込の力量（技能）を測る基準」が必要と考え、発足させたのが「(公財)日本水泳連盟飛込検定制度」です。

2. 飛込検定

①基礎から応用まで、飛込技術を段階的に判定できる級設定

飛込検定は、15～1級に分かれており、15級から基本を身につけ、段階的な技術の習得を目指し目標設定をしています。1級まで合格すると、大会出場に必要な種目構成が身につけ、選手として活動することも出来ます。

②生涯スポーツとしての楽しみを体験できる級設定

様々な基本技術から、宙返りや捻り種目など、挑戦意欲をかき立てる内容であり、生涯スポーツとして幅広い年齢層の方々にも、安全を第一に取り組める環境と指導者を検定者としています。

3. 飛込検定の実施

初めて飛込検定を実施する場合、参加者の有無が心配ですが、ポスターや「認定証見本」「検定基準」を提示することと、指導者による適切な説明と誘いがあれば充分です。検定会も特別に競技会形式のものを計画する必要はなく、練習会や飛込教室と兼ねて行えば特別に「検定会」として新たに大会を構える必要はありません。なお、飛込検定への参加に(公財)日本水泳連盟の選手登録等は必要ありません。

4. 飛込検定の企画と準備

①飛込検定会実施の公表

受検者のほとんどは、所属する学校・スイミングクラブ・サークル以外からの参加者であり、飛込検定会を実施する団体または検定者は、検定開催日2週間前までには、対象者へ「検定日」「検定会場」「検定方法」等、検定内容を公表し、広く検定受検者を公募します。それにより、地域との交流にも大いに役立ちます。

②飛込検定受検者の負担する費用

飛込検定受検者の負担する費用は、検定料+認定証・バッジ代=受検料で構成されます。受検者からの申し込みを受け付ける際、「検定申込書」と同時に、受検料を受け取り、検定主催者が収納します。ただし、検定料は一般的なものであり、会場使用料等の諸費用が必要な場合、必要最小限の範囲で諸費用を追加して徴収することが出来ます。

飛込検定では、事前に全受検者の認定証およびバッジ（15～1級）を製作するため、検定結果の可否に関わらず、受検者への認定証・バッジ代の返金は行いません。

③飛込検定会の実施要項

検定会を行う場合の必要条件是、(公財)日本水泳連盟飛込有資格者(コーチ)または(公財)日本水泳連盟飛込審判有資格者1名を含む検定者であることです。検定者は通常の講習会や競技会を行う場合と同様、必要に応じて補助役員を動員し、受検者への「安全」「健康」「保険加入(殆どの施設が賠償責任保険に加入していると思いますが、不加入の場合は加入する)」等を確認の上、必要用品を整えることが必要です。

④飛込判定合否基準

別に定める「飛込検定基準」を満たしていることが必要です。但し、身体不自由者の場合は受検者の状態に応じた技術判定が認められています。検定受検者の年齢区分はありません。飛込検定を実施するに当たり最も重要なことは、「厳正かつ公平の原則を厳守する」ことにあります。

⑤合格者氏名の公表

合格者氏名は「月刊水泳」(一部)、「(公財)日本水泳連盟ホームページ(<https://swim.or.jp>)」、「スイミングマガジン」(一部)に掲載されます。掲載には、毎月末までに本連盟に到着した分を翌20日迄に編集し、各所に原稿を

送付し掲載して頂いています。その関係上、報告書発送即掲載とはならないことをご承知おきください。また、旧字体などPCで変換できない文字は新字体表示とさせていただきます。（例）高（旧字体）→高（新字体）

5. 認定証およびバッジの交付

飛込検定では、検定実施終了後、合格者に対して、認定書と認定バッジを授与します。所定の払込取扱票（郵便局）にて下記宛に送金してください。

なお、振込金額は検定参加者数ではなく、合否にかかわらず検定実施数となります。

例) 検定参加者数：8名、検定実施数：10件（1級2名、2級5名、3級3名）
 実施数内訳：1級2名、2級3名、2級と3級を複数受検2名、3級1名
 上記の場合の払込金額は、検定実施数10件×1,000円となり、
 合計払込金額は、10,000円となります。

<送金先>

口座番号(東京) 00130-1-5178
 加入者名 (公財) 日本水泳連盟

(注) 払込人となる検定者の住所は、認定証等の送付希望先の住所となりますので楷書体にて明確に記入し、所属する都道府県水泳連盟（協会）名とコーチ・飛込審判資格登録番号および有効期限を必ず記入してください。

払込取扱票（記入例）

00 東京		払込取扱票	
口座記号・番号はお間違えないよう記入してください。		口座記号 (右詰めで記入)	
00130-1-5178		金額 ￥10000	
加入者名		料 金	
* 公益財団法人 日本水泳連盟		備 考	
*【飛込検定】▼下記の通り代金を添えて申し込み致します。(消費税含む)			
検定実施数 10 件 × 1,000円 =		合計金額 10,000 円	
《検定実施日》 2021年8月14日		コーチ・飛込審判資格登録番号 0046231	
所属都道府県水泳連盟(協会) 東京都		有効期限 2022年9月	
〒160-0013		日 附 印	
東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号		日本太郎 様	
日の丸ダイビングクラブ			
日本太郎 様			
(ご連絡先電話番号) 03-6812-9061			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) 此れより下部には何も記入しないでください。			

振替払込請求書兼受領証	
口座記号番号	00130-1-5178
加入者名	公益財団法人日本水泳連盟
金額	金額 ￥10000
おなまえ	東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 日の丸ダイビングクラブ
依頼人	日本太郎 様
(消費税込み)	日 附 印
料 金	円
備 考	

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
 切り取らないでお出しください。

この受領証は、大切に保管してください。

6. 飛込検定会の結果報告

飛込検定会の実施後、すみやかに日本水泳連盟飛込検定担当宛に、「飛込検定会結果報告書」(様式-1) 及び「合格書一覧表」(様式-2) を提出してください。「飛込検定会結果報告書」及び「合格者一覧表」は、「(公財) 日本水泳連盟ホームページ (<https://swim.or.jp>)」よりダウンロードし、記入後メール添付送信での提出を原則とします。

飛込検定会 結果報告用アドレス	jasf-diving-cert@googlegroups.com
--------------------	---

※なお、手書きによる記入は不可とします。

認定証



認定バッジデザイン

金・銀・銅



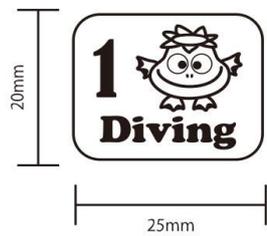
薄いブルー



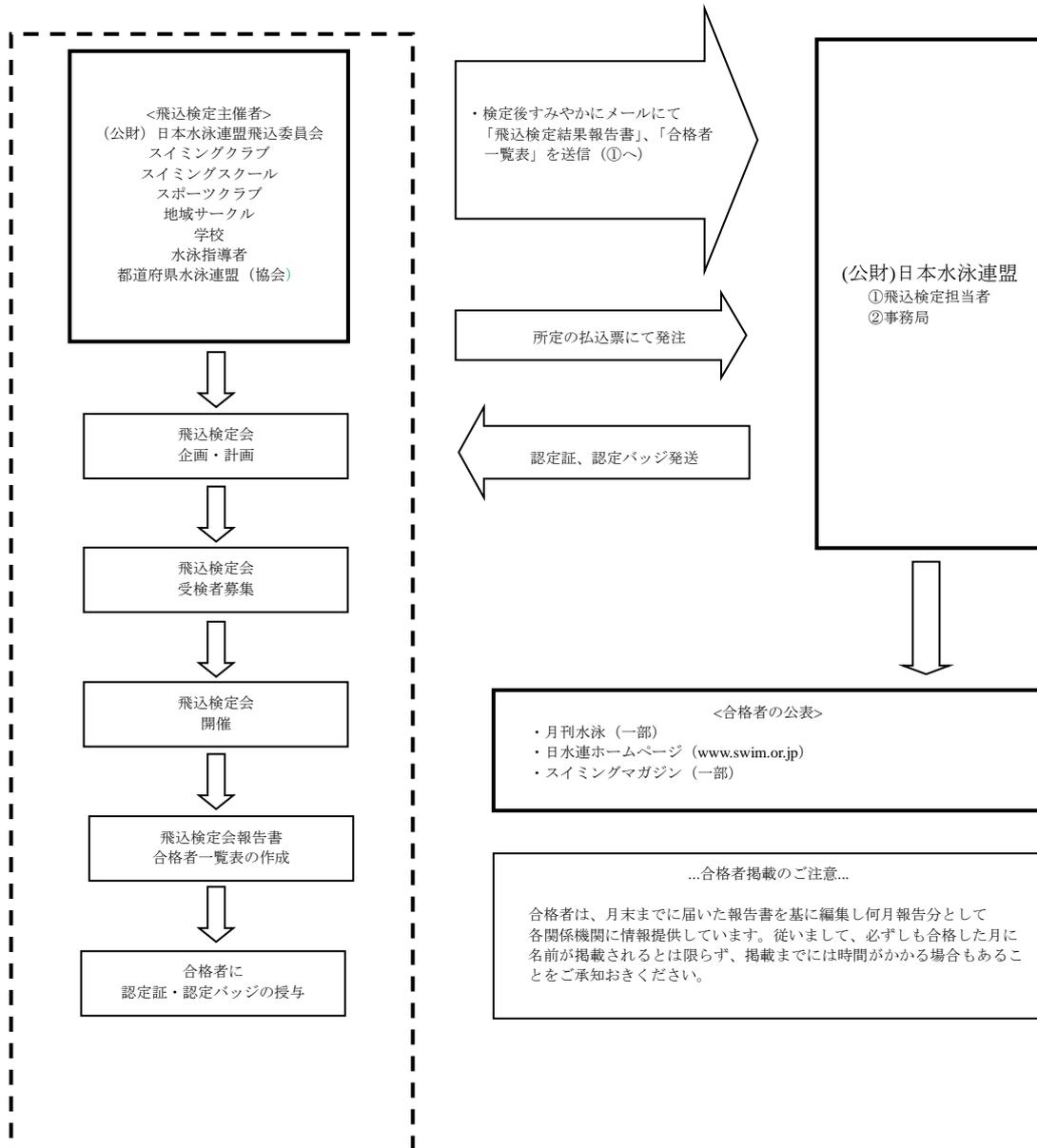
薄いピンク



濃いめの色
(ネイビー)



II. 飛込検定制度の流れ



飛込検定基準表

公 認 飛 込 進 級 テ ス ト					
<目標>					
15級	前棒飛AとC/Bのいずれかができる	6級	後飛A/B/Cのいずれかができる		
14級	後棒飛AとC/Bのいずれかができる	5級	前逆飛A/B/Cのいずれかができる		
13級	助走の棒飛A/B/Cのいずれかができる	4級	前宙返りC/B1回または後宙返り1回		
12級	前もしくは後棒飛1/2回以上捻りができる		A/Cのいずれかができる		
11級	前入水A/座りC/Bのいずれかができる	3級	前逆宙返り1回Cまたは後踏切前宙返り		
10級	後入水A/座りC/ジャンプAのいずれかができる		1回Cができる		
9級	前飛A/B/Cのいずれかができる	2級	前宙返り1回半Cができる		
8級	助走から前飛A/B/Cのいずれかができる	1級	前宙返り1回1回捻り/後宙返り1回半回		
7級	後踏切前飛A/B/Cのいずれかができる		捻りのいずれかの捻りができる		
(A 伸び型 B えび型 C かかえ型 D 自由型)					
級	得点	練習の目標	級	得点	練習の目標
15級	A	前 棒 飛	8級		助走から前飛(101)
	C/B		7級		後踏切前飛(401)
14級	A	後 棒 飛	6級		後 飛 (2 0 1)
	C/B		5級		前 逆 飛 (3 0 1)
13級	1m	助 走 の 棒 飛	4級		102C/Bか202C/A
12級	1/2回以上	捻 り 棒 飛	3級		302Cか402C
11級		前 入 水	2級		1 0 3 C
10級		後 入 水	1級		5122Dか5221D
9級		前 飛 (1 0 1)			
ふりがな			男	生年月日	
氏名			女	西暦 年 月 日 ()	

飛込検定会実施要項 (1/2)

- 1.主 催
- 2.検 定 者 (公財) 日本水泳連盟飛込有資格者 (コーチ) または
(公財) 日本水泳連盟飛込審判有資格者
- 3.期 日 年 月 日 () 検定開始時刻 時 分
- 4.会 場
- 5.参加資格
- 6.申込制限 検定は1人1つの級までを原則とするが、技術に応じて複数級の検定も認める。
- 7.検定方法 飛込検定会における合否の判定基準は、別に定める飛込検定基準で求められた技術を実施できることとする。
なお、技術は(公財)日本水泳連盟飛込競技規則に違反しない技術であること。ただし、身体不自由者の場合は、受検者の状態に応じた技術判定をしてもよい。
- 8.申込方法 申込書・誓約書に記入の上(年齢は検定会当日の満年齢)、受検料を添えてお申込みください。
- 9.受検料 1回につき 1,000円(検定料および認定証・認定バッジ)
※複数級を受検する場合、それぞれの級に対して1,000円がかかる。
- 10.キャンセル 年 月 日()迄の場合は無料で受理します。
年 月 日()以降は受検料を負担頂きます。
- 11.申込締切日 令和 年 月 日()
- 12.そ の 他 本検定で取得した個人情報、個人情報保護法に基づき適正に管理し検定会のプログラム及び合格者公表等の資料として活用されます。

飛込検定会実施要項 (2/2)

飛込検定申込書

フリガナ		男・女	申込年月日			年	月	日
氏名			生年月日	S・H・R		歳		
				年	月			日生
住所				TEL				
緊急連絡先 (家族等の氏名)				(TEL)				
申込をする級に○ をつけてください。	1級	検定料 1,000 円	6級	検定料 1,000 円	11級	検定料 1,000 円		
	2級	検定料 1,000 円	7級	検定料 1,000 円	12級	検定料 1,000 円		
	3級	検定料 1,000 円	8級	検定料 1,000 円	13級	検定料 1,000 円		
	4級	検定料 1,000 円	9級	検定料 1,000 円	14級	検定料 1,000 円		
	5級	検定料 1,000 円	10級	検定料 1,000 円	15級	検定料 1,000 円		
合 計	× 1,000 円							

誓約書

私は、個人情報 の活用を承諾し飛込検定会の申込をいたします。
 検定会には自己責任において健康管理を行い万全の体調で参加すること、検定結果 (合否) について異議申し立てを一切行わないことを誓約いたします。

申込者氏名

Ⓜ

保護者氏名

Ⓜ

(18 歳未満の場合、保護者の承認が必要です。)

公益財団法人 日本水泳連盟 飛込検定規定

(目的)

第1条 本規定は、(公財)日本水泳連盟が全国統一の飛込検定基準と、個人の飛込に必要な技術の認定に関することを定め、飛込愛好者に対する目標設定、技術レベルの向上および安全水泳の普及を通し、生涯スポーツの振興に寄与することを目的とする。

(飛込検定者)

第2条 飛込検定を実施できる者は、(公財)日本水泳連盟飛込有資格者(コーチ)または(公財)日本水泳連盟飛込審判有資格者とする。

(飛込検定者の義務)

第3条 飛込検定者は(公財)日本水泳連盟の飛込検定者としての誇りと自覚をもち、本規定の目的を良く理解し、飛込検定にあたっては、厳正かつ公平に行うものとする。

(飛込検定者の認定取り消し)

第4条 飛込検定者が下記項目に該当するときは、飛込委員会の決議により、飛込検定者資格を取り消すことがある。

- (1) 本連盟が定める定款および規定に違反したとき
- (2) 飛込検定に関し、不正行為が認められたとき
- (3) 指導者として著しく品位を失う行為、または犯罪等の反社会的行為があったとき
- (4) 何等かの事由により、飛込検定者としての任務遂行ができなくなったとき

(飛込検定会)

第5条 飛込検定会実施にあたっては、飛込検定会実施細則を別に定める。

(飛込検定基準)

第6条 飛込検定基準の技術は、別表の通りとする。また、飛込検定基準の技術の変更は理事会の決議による。

(認定証及び認定バッジの授与)

第7条 飛込検定により、相当級の技術が認められた者には、認定証および認定バッジを授与する。

(飛込受検料、検定料及び認定証代)

第8条 飛込受検料は検定料と認定証・認定バッジ代の合計額とする。検定料および認定証・認定バッジ代は一人1回につき、1,000円とする。但し、検定料は、検定会場使用料等が必要な場合には、必要最低限の範囲で検定諸経費の徴収を認める。

(附則)

1. 本規定は、令和3年9月1日より実施する。

公益財団法人 日本水泳連盟 飛込検定会実施細則

(飛込検定会の公表)

第1条 飛込検定会を開催する団体または飛込検定者は、飛込検定開催日の実施要項を公表し、広く検定受検者を募集する。

(飛込検定受検者)

第2条 飛込検定受検者は、定期的に水泳の練習をしている健康な者であること。

(飛込検定会役員)

第3条 飛込検定会における諸事項に最終判断を下す者は、(公財)日本水泳連盟飛込検定規定に定められた飛込検定者とする。

2. 飛込検定会を円滑に運営するため、飛込検定者の他に補助役員として必要人数を配置することが望ましい。

(飛込検定会の実施)

第4条 飛込検定は原則として15級より受検するものとするが、受検者の技術により上位級への飛び級受検を認める。

(飛込検定の合否判定基準)

第5条 飛込検定会における合否の判定基準は、別に定める飛込検定基準で求められた技術を実施できることとする。飛込競技規則第8条に準じて判定し、5点以上を合格とする。

なお、飛込は(公財)日本水泳連盟飛込競技規則に違反しない技術であること。ただし、身体不自由者の場合は、受検者の状態に応じた技術判定をしてもよい。

(事故防止と賠償責任保険の付保)

第6条 飛込検定会運営にあたっては、事故未然防止を最優先にし、事故防止に努める。また、万が一の場合に備え賠償責任保険に加入し、飛込検定会を開催する団体または飛込検定者の責任において事故対策を行うものとする。

(飛込検定会の結果報告)

第7条 飛込検定者は、飛込検定会終了後すみやかに、その結果を「飛込検定会結果報告書」に取りまとめ、随時(公財)日本水泳連盟に報告する。

(附則)

以上

1. 本細則は、令和3年9月1日より実施する。

飛込検定結果報告書・合格者一覧表の提出方法について

飛込検定結果報告書・合格者一覧表については、その報告書のデータを基に認定証・認定バッジの作成、および日本水泳連盟ホームページや月刊水泳（一部）、スイミングマガジン（一部）に合格者名簿を掲載しております。

つきましては、定型の報告書フォーマットをダウンロードの上、（公財）日本水泳連盟飛込検定担当にメールにて送付いただくようお願いいたします。

記

1. 定型の報告書のフォームのダウンロード先
公益財団法人日本水泳連盟ホームページ (<https://swim.or.jp>)
2. メール送付先
公益財団法人日本水泳連盟飛込検定担当 (jasf-diving-cert@googlegroups.com)
3. メール宛先の誤送信には責任を負いかねます。十分ご注意ください

以上

○この用紙のフォームは日本水泳連盟ホームページ(<https://swim.or.jp>)からダウンロードできます。

記入例 (様式-1)

飛込検定 結果報告書

報告日 (西暦) 2021年8月17日
開催団体名 日の丸ダイビングクラブ
報告者 畑岡 飛 ㊞
TEL 03-3481-2306
E-Mail mail@nippon.com

○開催日 (西暦) 2021年8月14日 (金)

○会場 名称 日の丸スイミングアリーナ
プール ダイビングプール
〒160-0013 (住所は都道府県から記入)
住所 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

○検定者 カガナ ニホン タロウ
 (責任者) 氏名 日本 太郎 ㊞

○級数 参加状況

小学生		中学生		高校生		一般		合計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1名	0名	0名	1名	1名	1名	2名	2名	4名	4名

受検・合否状況 受検者数 10名 (合格者 7名・不合格者 3名)

1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
2名	5名	3名	名	名	名	名	名
9級	10級	11級	12級	13級	14級	15級	
名	名	名	名	名	名	名	

○合格者一覧表のページ数 (飛込検定結果報告書は含めない) 1 枚

○この用紙のフォームは日本水泳連盟ホームページ(<https://swim.or.jp>)からダウンロードできます。

記入例 (様式-2)

合 格 者 一 覧 表

実施日 2021年 8月14日 開催団体名 日の丸ダイビングクラブ

- ・級は1級から順番に記入してください。 ・級が変わる場合は1行開けてください。
- ・No.は級ごとに1番から入れてください。 ・書体はゴシック体または明朝体をご使用ください。
- ・氏名はJ I S第2水準までとし、苗字と名前には空欄を入れずに記入してください。
- ・フリガナはカタカナ全角にて記入してください。 ・年齢は検定会当日の満年齢です。
- ・性別は男または女で記入してください。
- ・内容は日本水泳連盟にメールにて送信してください。メール宛先の誤送信には責任を負いかねます。十分ご注意ください

級	No.	氏 名	フリガナ	性別	年齢
1	1	日本 一朗	ニホン イチロウ	男	10
1	2	新宿 次郎	シンジユク ジロウ	男	59
2	1	佐藤 三郎	サトウ サブロウ	男	20
2	2	日本 正子	ニホン マサコ	女	20
3	1	佐藤 三郎	サトウ サブロウ	男	20
3	2	渡辺 花子	ワタナベ ハナコ	女	21
3	3	日本 正子	ニホン マサコ	女	20